

事業の概要

伊万里農林事務所 / 西松浦農業振興センター

〒848-0041 佐賀県伊万里市新天町122-4

TEL 0955-23-5171

FAX 0955-23-0057

e-Mail imarinourin@pref.saga.lg.jp

TEL 0955-23-5128

FAX 0955-23-5138



さが園芸888運動

チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ



佐賀県



佐賀県



さが園芸888運動

チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ



888
SAGA-engei

888
SAGA-engei



さが園芸888運動

チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ



佐賀県



さが園芸888運動

チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ



さが園芸888運動

チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ



さが園芸888運動

チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ



管内の概況

1 位置

伊万里農林事務所は、佐賀県の西部に位置し、長崎県と隣接する1市1町（伊万里市、西松浦郡有田町）を範囲として「農業の振興と普及」「農村環境の改善と農地の整備」「森林の整備と林業の振興」などの分野において多種多様な業務を行っている佐賀県の現地機関です。

2 自然条件

管内の面積は32,110haで県内の13%、人口は約7万2千人で県内の9%を占めています。国見山、黒髪山、八幡岳などを背にして傾斜地が広がる、いわゆる中山間地域です。

伊万里湾を擁し、「有田焼」の積出港として栄えた天然の良港「伊万里港」は、近年では造船やIT産業、更には県内唯一の木材コンビナートなどが集積し、近代的な工業港として発展しています。

●管内農林業の主要数値

区 分		管 内	佐 賀 県	県内シェア	出 典		
総面積		(ha)	32,110	244,067	13%	①	
人 口		(人)	71,842	808,821	9%	②	
農 業	耕地面積	(ha)	4,133	50,200	8%	③	
		水田	(ha)	3,286	41,700	8%	③
		畑	(ha)	844	8,470	10%	③
	農家数	(戸)	2,888	18,645	15%	①	
		販売農家	(戸)	2,142	13,293	16%	①
		自給的農家	(戸)	746	5,352	14%	①
	基幹的農業従事者数		(人)	2,236	19,015	12%	①
	農地集積率		(%)	29.6	71	—	④
農業産出額		(億円)	122	1,206	10%	⑤	
林 業	林野面積	(ha)	18,100	110,711	16%	①	
	林家数	(戸)	1,674	9,107	18%	①	

出典 ▶▶

- ①2020農林業センサス（農林水産省） ②R2国勢調査 人口速報集計（総務省）
 ③R4作物統計調査（農林水産省） ④佐賀県における農業経営基盤の現状R4.11（佐賀県農業経営課）
 ⑤県：R3生産農業所得統計、管内：R3市町村別農業産出額（推計）※端数処理により合計値と内訳が一致しない



伊万里木材コンビナート（伊万里市山代町）

農業生産の動向

当管内は、国見山麓等に展開する中山間地域です。畜産は、ブランドとして定着している肥育牛やブロイラーの生産が盛んです。果樹は、県内の6割を占める「なし」やぶどうなど落葉果樹生産が盛んです。野菜は、県内有数の産地であるキュウリをはじめとした施設野菜。水稻は、地域の特徴を生かしたこだわりや物語のある米栽培の取組が定着しています。

○耕地面積

	管内	県内	県内シェア (%)
耕地面積(ha)	4,133	50,200	8
田面積 (ha)	3,286	41,700	8
畑面積 (ha)	844	8,470	10

注) R4作物統計調査(農林水産省)

○農作物別農業産出額

	管内 (億円)		県全体 (億円)	
	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
米	17.9 (8)	15.4 (7)	227	223
麦	0.2 (1)	0.2 (1)	22	27
大豆	0.1 (1)	0.1 (1)	19	12
野菜	18.8 (5)	16 (5)	343	309
果樹	22.8 (12)	23.8 (12)	197	204
花き	2.1 (6)	2.2 (6)	33	35
畜産	60.5 (18)	62.6 (18)	342	356
その他	1.6 (5)	1.9 (5)	32	35
合計	124 (10)	122 (10)	1,219	1,206

注) 農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」(令和2、3年度)より
()は県全体に対する比率(%)

○主要農畜産物の生産状況

品目	作付面積(ha)	生産量 又は出荷量(t)	県全体	
			作付面積	生産量又は出荷量
なし	111(90)	2,471 (89)	124	2,780
ぶどう	19(44)	60 (17)	43	344
梅	32	260	—	—
キュウリ	12(20)	2,203 (18)	61	11,926
イチゴ	5.8(5)	285 (5)	117	5,250
タマネギ	28.9(2)	839 (2)	1,322	40,266
水稻	1,692(7)	8,100 (7)	22,800	117,200
二条大麦	317(3)	1066 (2)	9,670	46,200

	農場数	飼養頭数(頭)	県全体	
			農場数	飼養頭数
肉用牛	93(15)	10,895(20)	619	53,656

注) 水稻・麦類は、農林水産省作物統計調査(令和4年度)
果樹の管内はJ A伊万里出荷反省会資料(令和4年)
果樹の県全体は、J Aグループさが調べ(令和3年度 梅は、データ無し)
野菜は、J Aさが調べ(令和4年産) ()は県全体に対する管内の比率(%)
「家畜保健衛生所調査」(令和4年2月現在) ()は県全体に対する管内の比率(%)

※管内の特産農畜産物



施設園芸におけるICT等を活用した 先進技術の普及

施設野菜の主力品目であるキュウリについて、ハウス内環境制御技術の普及を図るとともに、施設の導入等を支援、推進しています。



軒高4mのフェンロー型耐候性ハウス



キュウリのハイワイヤー栽培



グリーンな栽培体系を目指し、自律走行無人草刈機の実証

果樹における優良園地の維持 と経営継承



ナシの栽培農家数が減少傾向にある中、産地の維持を図るため、目指す姿を明らかにし、担い手確保の支援をしていきます。



伊万里梨発祥立川の梨園を守る会の
役員会



長期研修生受入れの様子



温暖化に対応可能なモモ新品種「さくひめ」

稼げる農業
の確立

多様な担い手の確保・育成

ワンストップ窓口の就農相談会や、農業士による出前授業の実施。新規就農者等への技術面・経営面の両方のフォローアップを行い、幅広い担い手確保・育成対策に取り組んでいます。



新規就農者営農プラン研修会



アスパラ新規者研修会



4Hクラブ経営研修会



農業士による高校での出前授業

活力ある
農村の実現

地域条件を活かした中山間地域 農業の推進

中山間地域が抱えている様々な課題(集落機能の維持、耕作放棄地の増加、鳥獣被害等)の解決に主体的に取り組む集落に対して、関係機関と一体となって支援し、同地域の農業・農村の維持・発展を図っています。



集落内の若手意見交換会



新しいビジョンマップ



集落営農リーダー研修会



ワークショップ結果の報告

農業農村整備事業の推進

本県の農業農村整備事業は、「稼げる農業の確立」に向けた農業生産基盤整備と「活力ある農村の実現」に向けた安全・安心な農村づくりを進めています。

地域が目指す農業に応じた生産基盤の整備

○経営体育成基盤整備事業

担い手への農地の集積・集約や畑作物の計画がある地域において、農地の汎用化のための暗渠排水や農作業効率化のための大区画化などの整備を行っています。

農地の大区画化



伊万里市東山代町



担い手への集積・集約



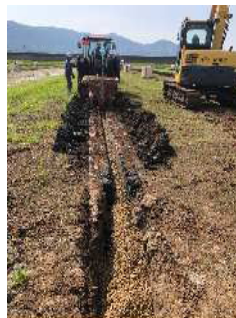
用水路の整備



排水路の整備



水田の汎用化



○基盤整備促進事業

施設野菜や果樹などの規模拡大の意向がある農業者や新規就農者を対象に、営農のニーズに応じた農業基盤の整備に対し支援しています。



耕作放棄地化した梨団地を再整備



伊万里市松浦町

キウイフルーツへの改植



(事業区分例)

●さが園芸888推進型

区画整理、用排水路整備、暗渠排水、農作業道等

●小規模整備型

田・畑の区画拡大、用排水路整備、暗渠排水、農作業道等

●暗渠排水型

暗渠排水



さが園芸888運動
チャレンジ! 元気あふれるさが農業へ

農村の生活環境基盤の整備

○中山間地域総合整備事業

平坦地に比べ条件的に厳しい中山間地域において、地域の立地条件をいかした農業と活力のある集落づくりを促進するため、農業用排水路、農道等の整備を行っています。

用水路整備



用水施設整備



集落道整備



○多面的機能支払交付金

農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等による組織が取り組む農地・水路等の地域資源の基礎的な保全活動、地域住民を含む組織が取り組む農地・水路等の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動に対し支援しています。

保全活動



ため池の草刈り

共同活動



ため池の軽微な補修

長寿命化



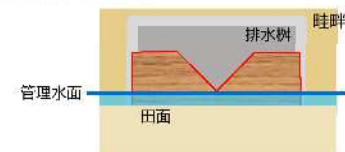
農道の更新

田んぼダムの推進



調整板（堰板）

正面図



活動組織の資源向上（共同）の田において、1/2以上の面積で田んぼダムに取り組む場合は、加算措置が受けられます。

農村地域の防災・減災対策

○ため池整備事業

防災重点農業用ため池等について、決壊などによる災害を未然に防止するため、老朽化したため池の改修を行っています。



田代ため池（伊万里市）



伊万里管内の農業用ため池数 （令和5年3月31日時点）

県内のため池の約半数は
伊万里管内に集中!!

伊万里市 1,078箇所（うち防災重点農業用ため池361か所）
有田町 202箇所（うち防災重点農業用ため池154箇所）

※「防災重点農業用ため池」とは、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

○海岸保全施設整備事業

地震による海岸堤防の被災を防止するため、耐震対策を行っています。



東山代地区海岸（伊万里市）

堤防の地盤改良



農業水利施設の老朽化対策

○基幹水利施設ストックマネジメント事業

ダムや排水機場など大規模な農業水利施設のうち、老朽化等による不具合が発生する前に計画的な対策工事を行っています。



古木場ダム管理棟（有田町）

水管理制御盤の更新



農業・農村に関する理解醸成活動の推進等

○さが農業のよさ発掘・醸成事業

農業・農村の持つ多面的機能や自然豊かな農村空間等の魅力を広く知ってもらうとともに、地域住民等による農地や土地改良施設、農村環境の保全活動の推進や支援を行っています。



（活動支援例）

- ふるさと「さが」水と土探検支援事業
田植え等の農業体験等への活動支援
- 棚田ボランティア支援事業
棚田地域と企業、団体等で締結した協定書に基づく活動支援
- 指定棚田地域保全活動支援事業
棚田地域を保全・利活用するための活動支援

小学生による農業体験



中田（すみやま）棚田（伊万里市）

環境を育む森林づくり

管内森林の現況

管内森林の多くはスギ・ヒノキの人工林で構成されており、地域森林計画対象森林の88%が林齢36年生以上の利用伐期を迎えています。

利用伐期を迎えた森林は、計画的な間伐・主伐を行い森林資源を循環的に利用していく必要があります。

(1) 森林面積表(地域森林計画対象森林:森林法第5条)

市町名	森林面積	人工林	人工林率	ha (戸)			
				すぎ	ひのき	36年生以上	36年生以上率
伊万里市	12,514	7,882	63%	4,640	3,173	6,843	87%
有田町	2,591	1,496	58%	431	980	1,361	91%
小計	15,105	9,378	62%	5,070	4,153	8,203	87%
県計	94,434	63,373	67%	37,743	23,550	55,544	88%

市町名	天然林	竹林	無立木地	林家数
伊万里市	3,264	299	1,070	1,396
有田町	958	30	107	278
小計	4,221	329	1,177	1,674
県計	22,491	2,939	5,631	9,107



資料:佐賀県森林・林業統計要覧(R4.4.1現在)

もりかわかいと 森川海人っ プロジェクト

森・川・海の保全活動等とおし「森川海はひとつ」という思いを次の世代に「人がつなく」ことを目的に様々な活動に取り組んでいます！



森林が持つ水源かん養機能や県民の生活を守る防災機能などの多面的機能を十分に発揮する多様な森林づくりを推進しています。

水資源を守る森林整備

多様な森林整備の推進

～ 荒廃森林の再生～

「森林環境税」を財源に手入れが遅れたスギ・ヒノキの人工林において間伐等を行い、下層植生の回復や針葉樹と広葉樹が混じり合った森林づくりを進めています。



植生が回復すると、林地の保水機能が高まったり、雨水がゆっくりと下流へ流れるようになって、災害発生の軽減に繋がるんだよ！



森林資源の持続的利用

適切な森林整備や木材の利用拡大を図ることにより、「植える→育てる→使う→植える」という森林資源の循環による持続的利用を推進しています。

木材の生産拡大の推進 ～健全な森林整備と林業の振興～

搬出間伐や主伐を促進するために、間伐等の森林施業の集約化や木材の搬出に必要な森林作業道の整備を行い、高性能林業機械を活用した低コスト木材生産体制づくりに取り組んでいます。主伐の後の再造林を進めるとともに山行苗の生産に力を入れています。

◎県が開発した次世代スギ「サガンスギ」の生産拡大

【特徴】

- ①成長が早い
- ②強度が高い
- ③花粉が少ない
- ④挿し木発根率が高い



木材の搬出と伐採後の植林

県産木材の安定供給と需要拡大 ～ふる郷の木づくりプロジェクト～

県産木材を活用した公共施設や、家具や内装等への活用など、多様な木材利用を進めています。



有田小学校 学童用机・椅子の導入



有田小学校体育館・内装木質化

～木材加工と木質資源の有効活用～

川上で伐り出された木材は、伊万里木材コンビナートの大規模製材加工施設で木材製品として加工され、県内を含む広範囲の地域に輸出されています。また、管内には、木質バイオマス発電施設が稼働しており、今まで木材加工の対象とされていなかった低質材（C材・D材）が木質バイオマス資源として有効活用されています。



伊万里木材コンビナート



山から出された木材

森林整備の推進と木材生産性の向上

～林内路網の整備～

林道等の路網は、地域の森林を整備・管理し、木材を搬出する林業活動のための基盤となります。

現在、烏帽子岳線、二里・下分線の総延長が12.4kmに及ぶ2路線の林道開設計画を行っています。これらの林道を活用し、森林の整備や木材生産性の向上等による、地域の活性化が図れるよう早期完成を目指しています。

完成した林道は市町に移管され、適切な管理を行うことで恒久的な森林整備への寄与が期待されます。



二里・下分線
(伊万里市)
(※開設中)



岩越八幡元線
(有田町)



(土場まで木材を運搬集積)



土場からトラックに積み込み
市場まで運搬します



防災につながる森林整備の推進 ～暮らしを守る治山事業～



山地の安定と森林の維持増進

治山事業は、山崩れ・地すべり・土石流などの山地に起因する災害から森林の維持造成を通じて、県民の生命・財産を守ることや、森林の持つ水源のかん養機能の向上、生活環境の保全形成などを目的に実施する事業で、安全で安心な豊かな暮らしの実現のために、必要不可欠な事業です。山地災害の未然防止と災害が発生した場合の早期復旧を図るため、荒廃地に治山ダム等の溪間工事や土留工・植栽等の山腹工事を行っています。



平成30年7月6日の梅雨前線集中豪雨により被災
(伊万里市東山代町滝川内 鍋倉地区)



緊急総合治山事業等により工事完了（溪間工事＋山腹工事）

